



第1回東海地区の病院におけるデータ標準化勉強会 医学研究と経営の効率化の未来

令和2年度に発足した東海国立大学機構 医療健康データ統合研究教育拠点 (C-HiT) では、名古屋大学と岐阜大学の電子カルテからデータを収集・蓄積し、臨床研究プラットフォームの構築に取り組んでいます。

近年、リアルワールドデータを活用した臨床研究、医薬品・医療機器の研究開発、経営分析が注目されながらも、実際の活用には収集されるデータの品質管理・標準化などの多くの課題が指摘されています。これらは地域でのデータ連携やベンチマークを実施する際も同様です。そのため本拠点では、岐阜大学・名古屋大学それぞれの関連病院長会議でのご賛同を受けて、東海地区を中心とした病院のマスター管理、データ管理等に関心をお持ちの実務者の方を対象にデータ標準化勉強会を開催します。

第1回目の今回は、本拠点の活動をご説明するとともに、臨床研究中核病院でのデータ標準化の取り組み (厚生労働省事業) をご紹介する予定です。そもそもデータ標準化でどのようなメリットがあるのか、データ標準化のために具体的に何をすればよいのか、などの疑問をお持ちの方、データの品質管理や標準化にご興味のある方、関連病院に関わらず院内での職種・業種の方からも歓迎です。奮ってご参加ください。

- 日時 令和3年1月27日(水) 18:30~20:00 (予定)
- 開催形式 ハイブリッド開催 (事前登録制)
- 会場: 東海国立大学機構 名古屋大学 医学部 (鶴舞キャンパス)
基礎研究棟3階 第1講義室
- WEB: Microsoft Teams®使用

- 申込み先 <https://forms.gle/nNNwoHvFBboNTAus8>
※申し込み人数に達した時点で締切ります。

- 定員 300名 (WEB接続)、80名 (会場)

- 参加費 無料

- 医療情報技師ポイント 1ポイント (イベントコード: 20-062)

■ プログラム

- 1 医療健康データ統合研究教育拠点 (C-HiT) のご紹介
医療健康データ統合研究教育拠点 (C-HiT) 拠点長 白鳥義宗
- 2 臨床研究中核病院におけるデータ標準化の取り組み
名古屋大学医学部附属病院
メディカルITセンター 副センター長 山下暁士
- 3 質疑応答



(申込み先URLのQRコード)

主催: 東海国立大学機構 医療健康データ統合研究教育拠点 (C-HiT)

共催: 名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター

岐阜大学医学部附属病院 医療情報部

● 問合せ先: 東海国立大学機構 医療健康データ統合研究教育拠点
事務局 c-hit-info@med.nagoya-u.ac.jp